

• よくわかる簿記シリーズ

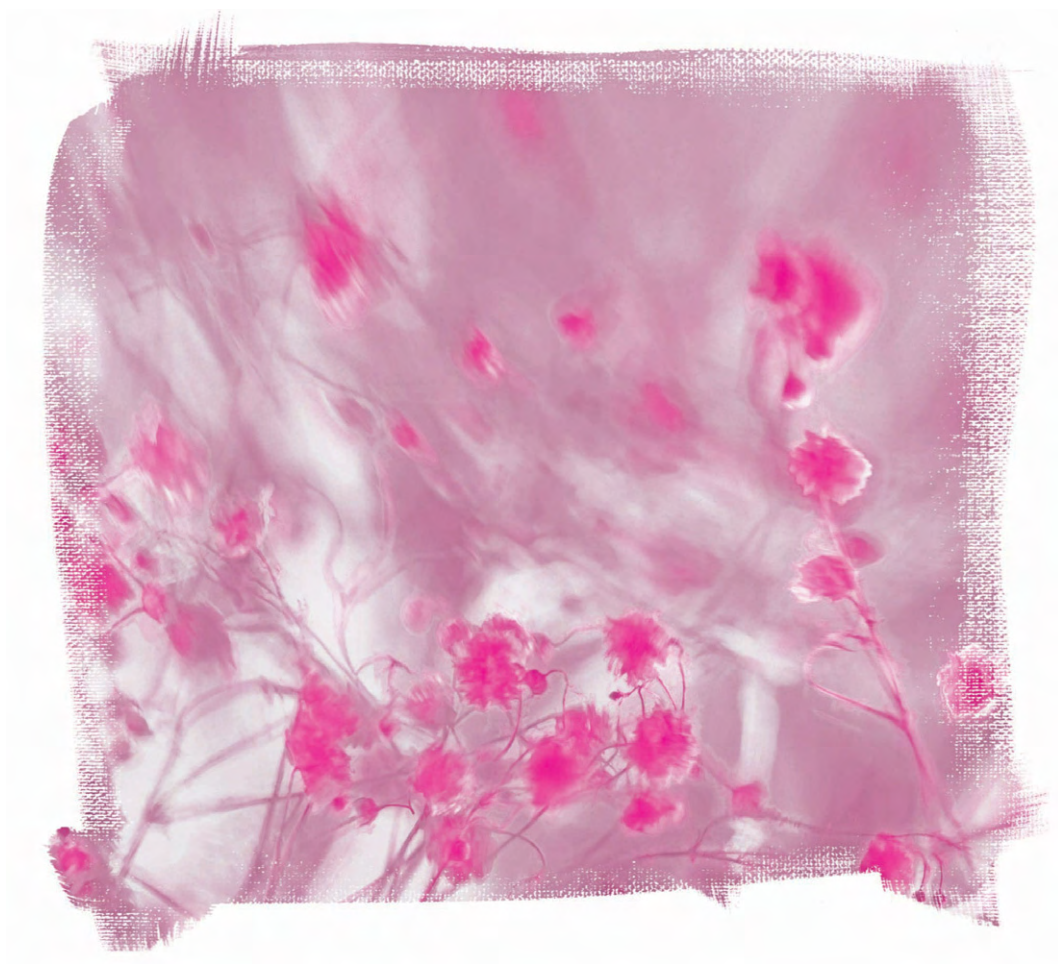
Text

合格テキスト

日商簿記 2 級

商業簿記

TAC簿記検定講座 著



テーマ 6 有価証券

ここでは、有価証券の基本的な処理を復習するとともに、端数利息さらに差し入れと貸借について学習する。

1

有価証券の分類

ゆう か しょう けん
有価証券とは、株券、社債券、公債証券（国債、地方債）などをいい、所有目的により次のように分類される。

(1) 売買目的有価証券

時価の変動により利益を得ることを目的として保有する株式および社債その他の債券

(2) 満期保有目的債券

満期（償還期限の到来）まで所有する^{い と}意図をもって保有する社債その他の債券

(3) 子会社株式および関連会社株式

他の会社の支配を目的として一定割合以上を所有する株式（子会社株式）および取引関係の強化等を目的として一定割合以上を所有する株式（関連会社株式）

(4) その他の有価証券

上記のいずれにも分類されない有価証券

* 子会社株式および関連会社株式、その他の有価証券については、簿記検定1級の学習範囲である。

2

購入と売却

1. 購 入

売買目的で株式や社債などを購入したときは、**売買目的有価証券勘定**（資産の勘定）の借方に取得原価で記入する。取得原価とは、購入代価と証券会社に払う売買手数料などの付随費用を加算した金額をいう。

また、満期保有目的で社債などの債券を購入したときは、**満期保有目的債券勘定**（資産の勘定）の借方に取得原価で記入する。

$$\text{取得原価} = \text{購入代価} + \text{売買手数料}$$

仕訳例 1

- (1) 売買目的でA社の株式800株を1株120円で購入し、代金は売買手数料4,000円とともに現金で支払った。

（売買目的有価証券）	100,000	（現	金）	100,000
------------	---------	----	----	---------

* @120円×800株+4,000円=100,000円

2. 満期保有目的債券

(1) 期末評価

満期保有目的債券は、取得原価をもって貸借対照表価額とする。ただし、債券を債券金額より低い価額または高い価額で取得した場合において、取得価額と債券金額との差額（取得差額）の性格が金利の調整（金利調整差額）と認められるときは、償却原価法にもとづいて算定された価額（償却原価）をもって貸借対照表価額としなければならない。

(2) 償却原価法

① 償却原価法とは

償却原価法とは、債券を債券金額より低い価額または高い価額で取得した場合において、債券金額と取得価額の差額（取得差額）が金利調整差額であると認められる場合に、金利調整差額に相当する金額を償還期に至るまで每期一定の方法で貸借対照表価額に加減する方法をいう。なお、その加減額は有価証券利息勘定に含めて処理される。

② 償却方法（定額法）

定額法とは、期間に応じた一定額を金利調整差額の償却として帳簿価額に加減し、これとクーポン利息計上額との合計額を、各期に利息配分額として計上する方法である。

(a) 債券金額よりも低い価額で取得したとき

(満期保有目的債券) 資産	××	(有価証券利息) 受取利息	××
------------------	----	------------------	----

$$(\text{債券金額} - \text{取得原価}) \times \frac{\text{当期所有月数}}{\text{取得日から償還日までの月数}} = \text{金利調整差額償却額}$$

(b) 債券金額よりも高い価額で取得したとき

(有価証券利息) 受取利息	××	(満期保有目的債券) 資産	××
------------------	----	------------------	----

$$(\text{取得原価} - \text{債券金額}) \times \frac{\text{当期所有月数}}{\text{取得日から償還日までの月数}} = \text{金利調整差額償却額}$$

設 例

当社は、平成×1年4月1日に満期保有の目的でC社の社債を現金で取得した。よって、次の資料により、(1)取得日、(2)利払日および(3)決算日の仕訳を示しなさい。なお、会計期間は1年、決算日は3月31日である。

(資 料)

- (1) 取得価額：9,700円
- (2) 額面金額：10,000円
- (3) 満期日：平成×4年3月31日
- (4) 券面利子率（クーポン利子率）：年1%
- (5) 利払日：毎年9月末日と3月末日の年2回
- (6) 取得価額と額面金額の差額は、すべて金利調整差額と認められ、償却方法は定額法による。

【解答・解説】

(1)平成×1年4月1日（取得日）

(満期保有目的債券)*1	9,700	(現 金)	9,700
--------------	-------	-------	-------

*1 「満期保有目的債券」は「有価証券」で処理することもある。

(2)平成×1年9月30日（利払日）⇒6カ月分（平成×1年4月1日から平成×1年9月30日まで）の利息計上

(現 金)	50	(有価証券利息)*2	50
-------	----	------------	----

*2 額面金額10,000円×券面利子率1%× $\frac{6\text{カ月}}{12\text{カ月}}$ =50円

(3)平成×2年3月31日（決算日＝利払日）

①利払いの処理 ⇒ 6カ月分（平成×1年10月1日から平成×2年3月31日まで）の利息計上

(現 金)	50	(有価証券利息)*2	50
-------	----	------------	----

②金利調整差額の償却

(満期保有目的債券)	100	(有価証券利息)*3	100
------------	-----	------------	-----

*3 (債券金額10,000円－取得価額9,700円)× $\frac{12\text{カ月}}{36\text{カ月}}$ =100円（当期償却額）

∴ 取得価額9,700円＋当期償却額100円＝9,800円（期末償却原価＝B/S価額）

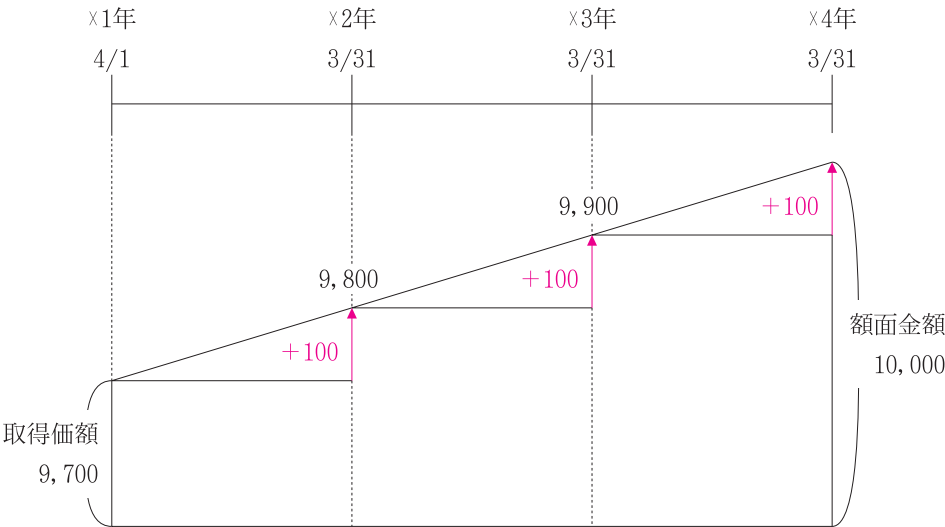
(注1) 前記の取引にもとづいて勘定図を示すと次のようになる。

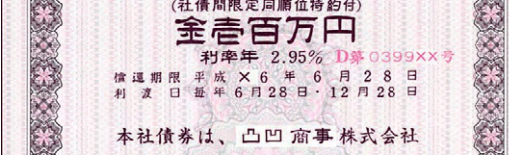
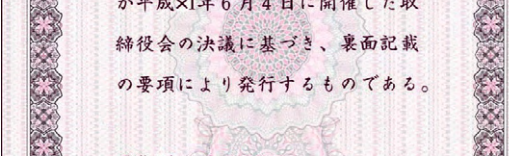
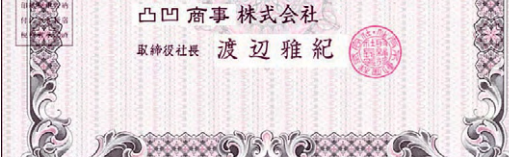
⊖		有価証券利息	⊕
P/L 収益	200	(2) 期限到来の利札	50
		(3)①期限到来の利札	50
		②当期償却額	100

(注2) 平成×2年3月31日に作成される貸借対照表は次のようになる。

貸借対照表	
×2年3月31日現在 (単位：円)	
投資有価証券	9,800

(注3) 満期保有目的債券勘定の残高の変化を図にすると、次のようになる。



 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債券 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円 利率年 2.95% D券 0399XX号 償還期限 平成×6年6月28日 利払日 毎年6月28日・12月28日 本社債券は、凸凹 商事 株式会社が平成×1年6月4日に開催した取締役会の決議に基づき、裏面記載の要項により発行するものである。 平成×1年6月28日 凸凹 商事 株式会社 取締役社長 渡辺雅紀 第10回 D券 0399XX号		 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×6年6月28日 D券 0399XX号 3016116004100399XX		 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×3年12月28日 D券 0399XX号 8016116004050399XX	
 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×5年12月28日 D券 0399XX号 4016116004090399XX		 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×3年6月28日 D券 0399XX号 9016116004040399XX			
 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×5年6月28日 D券 0399XX号 5016116004080399XX		 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×2年12月28日 D券 0399XX号 1016116004030399XX			
 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×4年12月28日 D券 0399XX号 6016116004070399XX		 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×2年6月28日 D券 0399XX号 2016116004020399XX			
 凸凹 商事株式会社第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) この部分は償還等の原使用し ますので、本券から切り離さ ないで下さい。 4016116004000399XX		 (ご注意) この債券及び利払は機械処理をしますので、次の点にご留意下さい。 1. 利払は点線よりお切り取り下さい。 2. 機械取扱い用紙の部分(クリアーゾーン)は、汚したり、折り曲げたり、文字の記入や押印等を行わないで下さい。 7016116004060399XX		 凸凹 商事株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) 金壹百万円券 平成×1年12月28日 D券 0399XX号 3016116004010399XX	

$$* \quad 6 \text{ カ月分の利息} : \frac{1,000,000 \text{ 円} \times 2.95\% \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}}}{\text{額面金額}} = 14,750 \text{ 円}$$

購入した公社債について利払で利息を受け取る場合、6 カ月分の利息と利払日が記載されている利払のうち利払日（支払期日）の到来したのものを点線に沿って切り取り、金融機関へ持っていくと換金することができる。